



平成 20 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社アイケイコーポレーション
 代 表 者 名 代表取締役社長 加 藤 義 博
 (コード番号：3377 東証二部)
 問 合 せ 先 経営管理室・人財管理室・経営企画室掌管
 取 締 役 松 本 博 幸
 (TEL. 03-6803-8855)

平成 20 年 8 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 10 月 11 日の決算発表時に公表した平成 20 年 8 月期(平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 8 月期 通期連結業績予想数値の修正

(1) 通期業績予想数値の修正 (平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 19 年 10 月 11 日発表)	24,795	2,098	2,141	1,127	7,395 円 11 銭
今 回 修 正 予 想(B)	24,858	1,920	1,958	1,014	6,653 円 16 銭
増 減 額(B - A)	63	177	183	112	741 円 95 銭
増 減 率(%)	0.3%	- %	- %	- %	-
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 8 月期)	20,379	1,574	1,604	740	4,859 円 27 銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、平成 19 年 2 月に設立したオートバイ小売販売を営む「株式会社アイケイモーターサイクル」において、立ち上がりの遅れに照らし今後の事業展開に備えてビジネスモデルの再構築を積極的に行う結果、計画を下方に見直したものの、「バイク王」をコアブランドとする中古オートバイ買取販売において、従来からの積極的な広告展開や多店舗展開による認知度向上、信用力向上に加え、広告展開におけるクリエイティブ変更等の効果により、売上単価が向上する見込みであるため、前回予想との比較において 63 百万円増の 24,858 百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費が抑制されるものの、オートバイ小売販売における計画を下方修正することにもない売上総利益が減少し、前回予想との比較にお

いて 177 百万円減の 1,920 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の減少にともない、前回予想との比較において 183 百万円減の 1,958 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、のれん（223 百万円）の一括償却（減損損失）を特別損失として計上したこと等により、112 百万円減の 1,014 百万円となる見込みであります。

なお、「株式会社アイケイモーターサイクル」の吸収合併につきましては、本日付「連結子会社「株式会社アイケイモーターサイクル」吸収合併（簡易合併）に関するお知らせ」にてお知らせしておりますとおり平成 20 年 6 月 1 日にて行う予定となっております。

2. 平成 20 年 8 月期 通期個別業績予想数値の修正

(1) 通期業績予想数値の修正（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 10 月 11 日発表)	23,675	2,117	2,141	1,145	7,511 円 85 銭
今回修正予想(B)	24,233	2,241	2,259	807	5,292 円 38 銭
増減額(B - A)	557	124	117	338	2,219 円 47 銭
増減率(%)	2.4%	5.9%	5.5%	- %	-
(ご参考) 前期実績(平成 19 年 8 月期)	20,035	1,839	1,861	998	6,554 円 42 銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、上記「1. 連結(2) 修正の理由」に記載したとおり、売上単価が当初計画を上回ったことに加え、「株式会社アイケイモーターサイクル」の吸収合併にともない、平成 20 年 6 月 1 日よりオートバイ小売販売の業績が加算されることを主たる要因とし、前回予想との比較において 557 百万円増の 24,233 百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、売上高および売上総利益の増加を主たる要因とし、前回予想との比較において 124 百万円増の 2,241 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の増加にともない、前回予想との比較において 117 百万円増の 2,259 百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、「株式会社パーク王」に対する関係会社損失引当金（236 百万円）の特別損失を計上すること等により、前回予想との比較において 338 百万円減の 807 百万円となる見込みであります。

なお、1 株当たりの配当額についての修正はございません。

以上

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。